

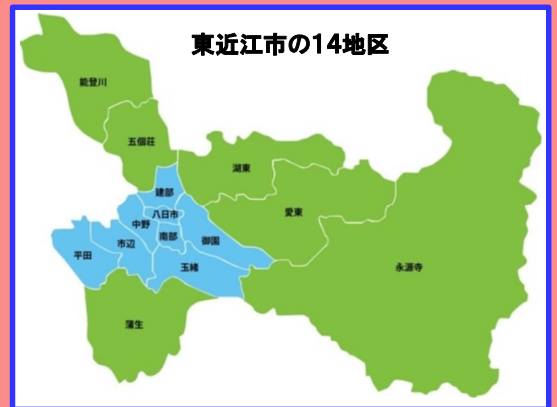
東近江市のまちづくり協議会

平成28年度 各地区の取り組み



まちづくり協議会誕生の経緯

平成17年2月11日 1市4町が合併し、東近江市誕生
 平成18年1月1日 さらに2町が合併し、現在の東近江市の形に



合併により、スケールメリットを活かした効率的な行政運営が可能に

しかし…

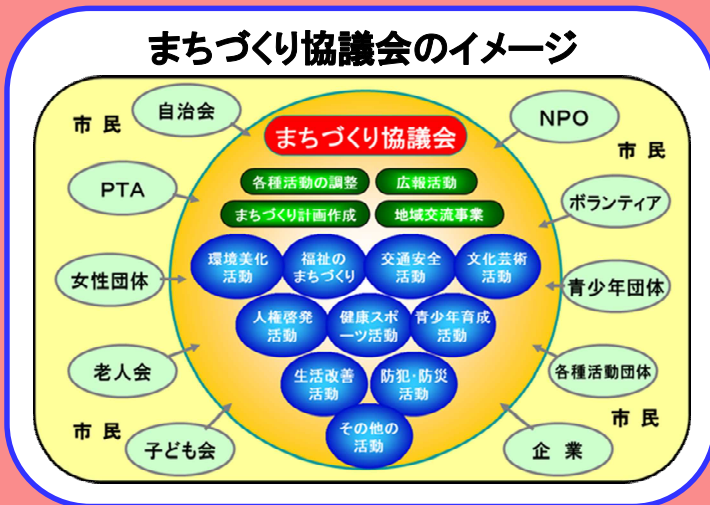
各地区の個性や伝統文化が失われるのでは？
 少子高齢化や人口の減少により、十分な行政サービスは困難になっていくのでは？

という不安が…

そこで…

市民が自主的に参加して、それぞれの地域課題を解決し、各地域の個性を活かしたまちづくりを行うため、東近江市の14地区それぞれで「**まちづくり協議会**」が組織されました。その活動は、防災・防犯・環境・福祉など多岐に渡り、地域のためという熱い思いにより、ボランティア精神で行われています。

まちづくり協議会のイメージ



まちづくり協議会は、地域を構成する市民やさまざまな活動団体が参加・連携をして、包括的なまちづくりに取り組んでいます。

また、それぞれの地区のまちづくり協議会では、各地域の特色や地域課題に応じて、まちづくり計画を策定し、その計画にもとづいて、まちづくり活動を実施しています。

各まちづくり協議会の活動の一部

分野	事業内容
環境	生ごみ減量化、大型金属資源回収、廃食用油回収、里山保全活動、街道整備事業、街路樹植栽管理、市の花ムラサキの栽培、都市公園の指定管理、獣害対策
福祉	命のバトン、婚活支援、子育て支援、冒険遊び場、あったかサロン、配食サービス
安全・安心 (防災・防犯)	防災講演会、防災訓練、かまどベンチ作製及び作製支援、自主防災活動リーダー研修会、防犯パトロール、スクールガード、わんわんパトロール隊、DIG 出前講座
文化・歴史	歴史冊子・マップづくり、歴史看板の設置、歴史探訪ウォーク、地域の歴史を学ぶ講座、地域の暮らしの始まりを心象絵図に描く、蒲生野万葉短歌会
健康・スポーツ	健康料理教室、健康講座、ふれあいウォーキング
交通	ちょこっとバス利用促進事業
教育	学校・園支援ボランティア活動、生涯学習、通学合宿
市民交流	地区イベント、ふれあいコンサート、朝市、縁側カフェ、歌声喫茶

コミュニティセンターの指定管理と協働のまちづくり条例

平成23年1月1日に、平田地区まちづくり協議会による平田コミュニティセンターの指定管理が開始されたのを皮切りに、平成26年4月1日からは14地区すべてのコミュニティセンターで、まちづくり協議会による指定管理が開始されています。

また、平成26年4月には、「協働のまちづくり条例」が施行され、その中で、まちづくり協議会の位置づけ等も定められました。まちづくり協議会は、まちづくりに包括的に取り組む団体として、また、行政の重要な協働のパートナーとして、ますます活躍が期待されています。(裏表紙に条例の抜粋を掲載)



▲ 指定管理運営開始式での鍵の受け渡し

まちづくり協議会の設立日及びコミュニティセンター指定管理開始日

協議会名	地区内人口 (人)	協議会設立日	コミュニティセンター 指定管理開始日
平田地区まちづくり協議会	3,174	平成17年12月23日	平成23年1月1日
市辺地区まちづくり協議会	4,315	平成19年2月25日	平成23年10月1日
玉緒地区まちづくり協議会	4,870	平成18年12月10日	平成24年1月1日
御園地区まちづくり協議会	8,741	平成18年10月21日	平成24年10月1日
建部地区まちづくり協議会	3,045	平成18年2月25日	平成23年10月1日
中野地区まちづくり協議会	7,759	平成18年12月9日	平成24年4月1日
八日市地区まちづくり協議会	6,110	平成18年12月2日	平成24年4月1日
南部地区まちづくり協議会	7,784	平成17年9月19日	平成23年4月1日
永源寺地区まちづくり協議会	5,521	平成17年9月30日	平成26年4月1日
五個荘地区まちづくり協議会	11,907	平成18年3月18日	平成25年4月1日
愛東地区まちづくり協議会	4,892	平成17年5月21日	平成24年10月1日
湖東地区まちづくり協議会	8,709	平成17年7月14日	平成24年4月1日
(一社)能登川地区まちづくり協議会	23,367	平成19年3月10日	平成24年4月1日
蒲生地区まちづくり協議会	15,016	平成18年11月18日	平成25年4月1日

※人口は、平成28年10月1日現在

※(一社)能登川地区まちづくり協議会は平成25年4月1日に法人化しているため、上記の設立日及び指定管理開始日は、法人化前の能登川地区まちづくり協議会の設立及び開始日。



▲ 広報誌はすべての地区で定期的に発行中

14地区のまちづくり協議会による
実行委員会で結婚支援事業をされ
▼ ている三木市へ先進地視察



▲ コミュニティセンター以外に、公園などの指定管理を行っている地区もあります

平田地区まちづくり協議会

(愛称) ひらた夢回議

(テーマ、スローガン) 歴史と水と緑あふれる平田地区、夢を語り未来につなごう！

【平成28年度】

設立日	平成17年12月23日	認定日(当初)	平成18年1月16日
コミセン指定管理開始日	平成23年1月1日	認定日(条例による認定)	平成27年4月1日
事務所連絡先	所在地 東近江市下羽田 84-5 平田コミュニティセンター内 電話番号 0748-22-1950 IP番号 050-8034-1950 FAX 0748-22-1950 e-mail hirata-co@e-omi.ne.jp ホームページ http://hiratayumekaigi.web.fc2.com/main1.html		
代表者	会長 藤田 英夫	会員数	地区住民
会議・組織	本会役員 会長、副会長*3、会計、事務局長、公園管理運営業務主任者 会計監事*2 評議委員会 自治会長*12 運営委員会 本会役員(会計監事を除く)、専門部会長、団体会員の長		
予算等の概要	一般会計 2,020千円 指定管理会計 3,591千円(雪野山歴史公園・華丘山公園) " 12,650千円(平田コミュニティセンター)		
情報紙の発行	平田のみんなの情報誌「ひらたから」(A4版) 毎月発行 発行部数 1千部/回 主な内容 活動報告、行事案内、お知らせ 等		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などで特にPRできること	<p>平田地区まちづくり協議会は、協議会発足から10年が経過し、これまでの成果を活かしつつ、少子高齢化や人口減少等に伴う新たな課題に対応したまちづくりを、さらに推進、発展させるため、今年度から2ヶ年をかけて、まちづくり計画の改定作業に取り組んでいます。</p> <p>7月9日(土) 国史跡雪野山古墳をはじめ地域の歴史資産を地域の資源として活用することで「住み続けたい、住みたくなる」平田地区をアピールし、東近江市における平田地区の未来について考えるフォーラムを開催しました。</p>		



指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

【地域の課題解決】

・当地区の主な課題について行政との共通理解を深め、協働のまちづくりを一層進めるため、各自治会長やまちづくり協議会役員、市担当者、地域担当職員等が参加し、意見交換会を開催しました。



・自治会連合会等で構成する「平田幼稚園跡地等を考える委員会」を開催し、平田幼稚園移転に伴う懸案事項や跡地及び周辺整備等について検討を行っています。

【広報】

平田のみんなの情報誌「ひらたから」を毎月発行しています。

【ひらた夢朝市】

ひらた夢朝市は、毎月第1、第3日曜日に定期開催しています。平田地区の農産物を食べることで、ふれあい交流を広げ、地産地消の推進に取り組んでいます。



【子育て応援】

0歳～就園前の子どもとその保護者がこのサークルに参加し、親子で一緒に遊びながら、育児の悩みや不安、喜び等を自由におしゃべりして、交流を深めています。

【施設管理運営】

雪野山歴史公園・華丘山公園の指定管理者として管理しています。

雪野山古墳が平成26年3月に国史跡の指定を受け、年々、雪野山を訪れる人が増えており、散策路の管理や案内板、標識、展望台等の整備を行っています。



【里山再生】

雪野山歴史公園周辺の里山林や瓶割山城跡に通じる散策路の下草刈りなどを行っています。

【雪野山歴史まつり】

7月31日(日) 地区の夏の一大イベントである第14回雪野山歴史まつりを開催しました。

戦国時代の柴田勝家と佐々木六角の戦いに因んだ水鉄砲合戦は、歴史まつりのハイライトであり、今年も約100人の若者が参加し、それぞれ4人がチームを組んで、熱い戦いを繰り広げました。



市辺地区まちづくり協議会

(愛称) 万葉のまち 市辺

(テーマ、スローガン) このまちで心豊かに住みつづけたい

【平成28年度】

設立日	平成19年2月25日	認定日(当初)	平成19年3月1日
コミセン指定 管理開始日	平成23年10月1日	認定日(条例に よる認定)	平成27年4月1日
事務所 連絡先	所在地 東近江市市辺町 2391 番地 市辺コミュニティセンター内 IP 番号・FAX 050-5802-3392 e-mail ichi-kyo@e-omi.ne.jp ホームページ http://www.ichinobe.com/		
代表者	会長 須田 智廣	会員数	107人
会議・組織	役員会 9人(会長・副会長3・事務局長・IT業務主任者・会計・会計監事2) 運営委員会 24人(役員・自治連正副会長・各種団体代表・まちづくり委員会) まちづくり委員会 88人《広報(7) 自然環境(33) 地域活力(14) 歴史・文化(12) 安全・安心(9) 健康・福祉(7) こども健全育成(10)》		
予算等の概要	本体部門 収入の部 2,280千円 (総合交付金・自己資金) 支出の部 2,280千円 (事務費800千円・事業費920千円・会議費 10千円・負担金350千円・予備費200千円) コミセン部門 指定管理料 11,540千円		
情報紙の発行	まち協広報誌「万葉のまち市辺」第35号・36号・37号・38号を発行 <主な内容> 「各部活動紹介」「天理市柳本公民館交流」「地域担当職員紹介」 「いちのべ農園芋収穫祭」「布施山城跡看板設置」「交通安全教室」 「布施溜池 DVD 完成」「万葉フェスタ」「住民福祉懇談会」 「まちづくり計画 PT」「減災のまちづくり PT」「健康講座」		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などでPRできること	指定管理 ・高齢者学級、子ども夏祭り、男性料理教室、映画会、他 組織運営 ・指定管理から6年目、安定した組織体制構築のための規約の見直し。 自治会連合会や各種団体との連携 ・スイートポテト作り教室と子ども安全教室(自転車)は地域教育協議会・子ども会との共催、地区実行委員会開催の万葉フェスタにまち協も参画。健康講座は社会福祉協議会・老人会との共催。夏と年末の防犯パトロールにまち協も参画、地元住民の協力で布施溜池 DVD を作成。布施山城跡標識看板の設置、等々まち協と各種団体や地域の方々との協働で活発な事業ができた。 まちづくり委員会の事業活動PR ・広報部 広報誌4回/年発行 ・歴史文化部 布施の溜池歴史 DVD 完成、第4回蒲生野万葉短歌会 ・自然環境部 コプス普及、出前講座、いちのべ農園、工場(環境)見学 ・健康福祉部 マクロビオテック教室(酵母パン作り)、健康講座 ・安全安心部 地区パトロール(夏・年末)参加、普通救命講習(AED) ・地域活力部 ムラサキ栽培、万葉フェスタ ・こども健全育成部 安全教室(安全自転車教室・道路標識ビンゴゲーム)		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

< 自然環境部 >

- ・いちのべ農園、館外環境研修



< 安全安心部 >

- ・普通救命講習



< 健康福祉部 >

- ・健康講座



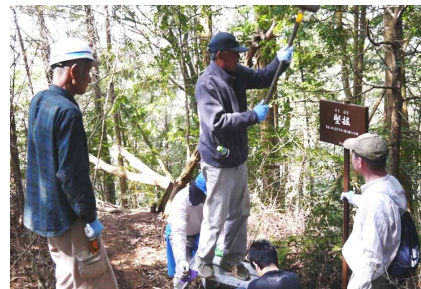
< こども健全育成部 >

- ・安全教室（自転車・標識ビンゴゲーム）



< 歴史文化部 >

- ・こらぼ村、布施山城跡看板設置、明日香村歴史散策、布引小出前講座、蒲生野万葉短歌会



< 地域活力部 >

- ・ムラサキ苗植え（船岡山公園）



< コミセン事業 >

- ・子ども夏祭り



玉緒地区まちづくり協議会

(愛称) ハートフル玉緒

(テーマ、スローガン) 自然と共生し、みんなで創る輝く玉緒



【平成28年度】

設立日	平成18年12月10日	認定日(当初)	平成18年12月14日
コミセン指定管理開始日	平成24年1月1日	認定日(条例による認定)	平成28年4月1日
事務所連絡先	所在地 東近江市大森町 1030 番地 玉緒コミュニティセンター内 電話番号 0748-22-6479 IP 番号 050-5801-6479 FAX 0748-22-6479 e-mail tamaomachi02@gmail.com		
代表者	会長 岩崎 治	会員数	まちづくり委員 62名
会議・組織	まちづくり協議会 会長(自治連会長)・副会長×2(前年自治連会長・まちづくり委員会代表) 事務局長(コミセン館長兼務)・会計(まちづくり委員会会計) まちづくり協議会全体部会 ハートフル玉緒自主防犯隊 まちづくり委員会 (コミセン指定管理後に協議会事業引き継ぐ) 代表・副代表×3・事務局長・会計・監査 計7名で役員会構成 運営委員会 役員・専門部会正副部会長・担当委員・コミセン館長 計16名 専門部会 環境保全整備部会・歴史教育部会・健康スポーツ福祉部会・広報部会		
予算等の概要	一般会計 2,250千円(交付金1,671千円 その他579千円) 指定管理会計 12,500千円(指定管理料11,563千円 その他937千円)		
情報紙の発行	まちの情報誌「ハートフル玉緒」年3回発行し、その他の月はコミセン「玉緒だより」と合併号。発行部数1,500部(今年度は34~36号の予定) まちづくり協議会(委員会)活動報告、文化・歴史・地域等の紹介、及びドクターに聞く連載など。まちづくり協議会設立10周年記念誌の発行500部		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などで特にPR出来る事	まちづくり協議会活動 コミセンの指定管理に伴う、管理運営を行う。 協議会が、自治連・各種団体と共に3大事業(夏祭り・運動会・文化祭)の企画~運営を行っている。 「ハートフル玉緒自主防犯隊」による地域パトロールの実施。 自治連・各種団体が地域全体事業として、防犯・防災・安心のために青パトカーによる巡回を実施。 自治連・各団体が、地域教育協議会の玉緒いきいき塾「通学合宿」を支援。 まちづくり委員会活動 環境保全整備部会 里山整備、桜並木の整備(自治連・各種団体と協働)、住民・親子のふれあい活動、玉緒小学校の里山体験授業の支援。 地域歴史教育文化部会(玉緒・地区外の史跡ウォーキング実施、文化活動の啓蒙・実施、玉緒・布引小学校の課外学習支援) 健康スポーツ福祉部会(健康体操、体力測定・健康講座開催) 広報部会(地域の情報発信) 10周年記念誌編集委員会(記念誌の編集・発行)		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

玉緒地区文化祭開催 11月6日(日)
まち協主体で各種団体と実行委員会を立ち上げ、会場の玉緒小学校体育館(展示物・歌・演奏など)、グランド(バザー・大道芸など)で盛大に開催し、例年より多く300名余りの参加が、芸術・芸能・秋の味覚を一日楽しみました。



ハートフル自主防犯隊(青パト事業)
今年で6年目、隊員140名余りが、交替で月10回地区内を巡回パトロール実施。



玉緒いきいき塾支援 6月 まち協・各種団体
が、地域教育協議会(キッズ)の2泊3日通学合宿の見守りや食事作りをお手伝い。



桜並木の整備(6月、11月に実施)
毎年、まち協・自治連と協働で布引丘陵のダム管理道路沿い桜並木の寄生木除去処理を行っている。



第7回 里山フェスティバル開催 7月
夏休みに里山広場で親子など180名余りが参加し、輪投げやカブト掴み、シーソー・すべり台をしたり、かき氷などを食べながら、楽しい半日を過ごした。



春・秋の2回 史跡ウォーキング開催
春は、郷土にある戦争遺跡を巡り、70年前は戦場であったことを知った。



まちづくり協議会設立10周年記念誌の発行。
この10年間に活動いただいたまちづくり委員(延べ266名)及び関係団体へ配布。



御園地区まちづくり協議会

【平成28年度】

設立日	平成18年10月21日	認定日(当初)	平成18年10月30日
コミセン指定管理開始日	平成24年10月1日	認定日(条例による認定)	平成27年4月1日
事務所連絡先	<所在地>東近江市五智町 351-2 御園コミュニティセンター内 <電話番号・FAX> 0748-22-0503 <IP電話> 050-8034-0503 <E-mail> misono-c@e-omi.ne.jp (御園コミュニティセンター)		
代表者	会長 坂田 耕	会員数	地区住民全員
会議・組織	役員会 7人(会長、副会長2名、顧問、事務局長) 運営委員会 34人(役員、各自治会会長、各活動部会長、会計、顧問) 活動部会 <ul style="list-style-type: none"> ・各種団体を教育文化部、環境整備部、安全安心部、体育部、健康福祉部、地域活動部に振分けて部会を組織している。 ・まち協独自の活動は防犯パトロール隊など5活動 		
予算等の概要	一般会計 2,431千円 指定管理会計 12,383千円		
情報紙の発行	【まち協みその】 A4版4～8ページ 毎月発行 発行部数2,200部/回 ・まち協、自治連、コミュニティセンター、各種団体の広報紙としてひとつにまとめた情報紙を発行 ・主な内容：まち協、自治連、各種団体(子ども会、老ク連、体協、人権協、青少年育成会、社協等)、コミュニティセンターの活動紹介、まちの話題など		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などで特にPRできること	組織運営 会長は前年度の自治会連合会の会長が就任、当年度自治会連合会の会長は副会長となる。議決機関である運営委員会の委員に自治会長全員が就任することで、まちづくり協議会と自治会連合会との連携が図れています。また、まちづくり協議会の役員が地域の代表であることが住民の皆さんに認識されています。 指定管理 まちづくり協議会の事務局長をコミュニティセンター館長が兼任することで、まちづくり協議会と自治会連合会がともにコミュニティセンターをまちづくりの拠点として活動出来ています。 各種団体との連携 今年度より、まちづくり協議会で各種団体に地域活性化の提案を募り、総会で承認を得た事業については費用の支援を行うとともに共催事業を行っています。 まちづくり協議会主要事業 <ul style="list-style-type: none"> ・防犯パトロール <ul style="list-style-type: none"> 週2回、地区内全域を青色回転灯をつけた専用車両(青パト)でパトロールしています。今年度から御園駐在所のパトカーに並走していただくなど抑止力の拡大を図っています。 ・まちづくり計画 <ul style="list-style-type: none"> 15歳以上の全住民アンケートを実施、地域事業の重要度/満足度、生活の困り事、地域事業への参加希望などを調査しました。 		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

H28 年度活動紹介

1、防犯のまちづくり事業

1-1 防犯ボランティアパトロール



地区内を青パトで、2時間ほどの巡回を年間96回実施しています。

1-2 防犯ボランティアパトロール隊講習会



パトロールのための講習会を実施し、42名の隊員が参加しました。

2、廃棄物削減事業



ダンボールコンポスト（生ごみのたい肥化）及び木製コンポスト（落ち葉・雑草・剪定葉のたい肥化）の普及活動として、講習会を開催しました。

3、地域活性化事業 地区秋まつりの開催



11月6日 地区秋まつりを開催しました。

5年ぶりに御園小学校グラウンドで開催され、3000名もの住民が参加し、大盛況となりました。

4、教育文化活動

4-1 電車でお出かけ

（かき御園チャオグループ）



近江鉄道とバスを乗り継いで醒ヶ井へ。魚釣りや工作、魚焼き体験などたくさんの方の活動をチャレンジしました。

4-2 カレーパーティ

（かき御園チャオグループ）



みんなで協力してカレーを作り、おいしくいただきました。

4-3 うたごえ広場

～みんなで楽しく歌いましょう～



うたごえ広場を3回開催しました。懐かしの歌謡曲や流行歌を楽しく歌いました。

建部地区まちづくり協議会

(テーマ、スローガン) 建部に生まれ、育ち、住んで良かったと言われる郷(さと)づくり

【平成28年度】

設立日	平成18年2月25日	認定日(当初)	平成18年3月2日
コミセン指定管理開始日	平成23年10月1日	認定日(条例による認定)	平成28年4月1日
事務所連絡先	所在地 東近江市建部日吉町31番地 建部コミュニティセンター内 電話番号・FAX 0748-22-0303 IP番号 050-5801-0303 e-mail tatebe-machikyo@e-omi.ne.jp		
代表者	会長 小泉 登喜夫	会員数	個人会員53名、団体会員12団体
会議・組織	<p>評議委員会 18名(自治会長) 運営委員会 17名(地域団体代表者、まち協役員) 役員会 14名(会長、副会長×3、事務局長、会計、部会長×4、 コミセン館長、地域担当職員×3) 専門部会 4部会(環境美化、歴史文化、健康福祉、広報) 会員の範囲(建部地区に居住する住民で構成) ・個人会員(本会の趣旨に賛同し、参加する個人)53名 ・団体会員(自治会連合会及び本会の趣旨に賛同する地域団体)12団体</p>		
予算等の概要	<p>・一般会計 1,718千円(交付金1,283千円、自治会連合会助成金100千円、繰越金234千円、その他101千円) ・指定管理会計 11,852千円</p>		
情報紙の発行	<p>地域の身近な情報誌として「建部だより」を毎月1回発行(年12回) A4版4~6頁(カラー) 発行部数1,000部/回</p>		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などで特にPRできること	<p>1. まち協役員および推進体制 役員会は次の14名で構成する。会長1名、副会長3名、事務局長1名、会計1名、コミセン館長1名、専門部会長4名、地域担当職員3名 役員会の活性化 役員会を毎月定期的で開催する。議論を活発化し、効率よく進めるため、毎回議題を事前に通知し、会議資料を充実させ、議事録を発行する。</p> <p>2. 自治連、各地域団体との連携 自治会連合会の会長がまち協の副会長に就任することで自治連との連携を図る。 12の地域団体長とまち協役員が、まち協の運営に関し定期的に協議する。 まち協の企画・運営および総会提出議案について意見を求めるため、自治会長で構成する評議委員会を必要に応じ開催する。</p> <p>3. 研修事業の推進 まち協会員および地域団体関係者を対象とした先進地研修を7月2日に実施。京エコロジーセンターを訪問し、地球環境問題を学ぶと共に生ゴミの減量化(ダンボールコンポスト)への取組みをスタートさせた。</p> <p>4. コミュニティセンターの指定管理の進捗状況 指定管理の開始から6年目を迎え、地域住民の身近な施設として、また地域の皆さんに気軽に利用していただくため、開かれた施設運営を目指して取り組んでいく。 施設の設備改修や環境整備を行い、利便性の向上に努めていく。 コミセンに対する地域住民の意見を募り、今後の運営に反映していく。</p>		



指定管理・組織運営・他団体との連携・まちづくり活動等の取り組み紹介

1. 建部里まつりの開催（6月5日）

「森を学び・森で遊び・森で食す」をテーマに住民が交流し、相互理解を深めるため、第2回建部里まつりを河辺いきものの森で開催しました。森の観察会や森の探検、木のジャングルジムや竹切り大会、ケン玉・竹笛作りなどを楽しみました。お昼には羽釜で炊いたかやくご飯や豚汁をおいしくいただきました。また、コーヒー、パン、かき氷、ポン菓子などもあり、子どもから大人までが1日を楽しく過ごしました。



2. 建部三大まつりへの参画

実行委員会形式で行われている建部三大まつりに参画し、先導的役割を果たしました。

ふるさと夏まつり（7月30日） ・まち協はバザーで焼き鳥・コロッケを販売、大根射的ゲームや風船バルーンを行いました。

地区運動会は雨で中止になりました（10月9日）

町民祭（11月6日） ・まち協はバザーで豚汁・焼き鳥を販売し、心象絵図の展示や刃物研ぎを行いました。

3. 地域担当職員3名が建部のまちづくりに参画

まち協の役員会に参加し、まちづくり事業の支援、地区に必要な行政情報の提供、地区の活動に関する庁内関係部署との連絡調整を行います。まず建部を知るため、11月19日に3人で建部歩きを行いました。（建部地域担当職員、写真左より西浦正朝さん、野神陽平さん、地家康司さん）



4. 環境美化事業への取り組み

生ゴミの減量化を図るため、ダンボールコンポストに取組みました。（講習会の開催：9月16日、10月14日、11月24日）
植樹箇所およびポケットパークの草刈、コミセン前庭の剪定作業（6月11日、10月8日）

愛知川左岸堤防のごみ拾い（12月4日）

コミセン周辺の年末清掃（12月22日）



5. 歴史文化事業への取り組み

地元の歴史・文化を学び、ふるさと建部のよさを再発見するため、建部唯一の商店街でありました昭和30年代の竹鼻商店街ふるさと心象絵図（全長10m、高さ80cm）を作製し、町民祭で住民のみなさまに披露しました。

歴史探訪として湖南三山をめぐるしました。（11月12日）

秋に色づく天台古刹の国宝三山（常楽寺、長寿寺、善水寺）を訪れ、住職から寺院の説明や法話をお聞きしました。

歴史講座の開催（2月25日）

門脇正人氏を講師にお招きし、「御代参街道をゆく」をテーマにロマンあふれる建部の歴史と文化を学びました。



6. 健康福祉事業への取組み

高齢化率が年々高くなる中、子どもや高齢者、障がいのある方が安心して暮らしていけるように、地域で支え合い助け合いのできるまちづくりを進めるため、健康福祉部会を新たに設置しました。今年度は、子ども見守り活動（交通立番を通して）と健康寿命を延ばすため高齢者を対象とした健康教室を開催しています。



7. 広報活動への取り組み

建部の良さとコミセンの活動やまち協の活動を広く知ってもらうため、「建部だより」をコミセンと共同で毎月発行しています。また、コミセン内に地域団体の活動を報告する掲示板を新たに設置しました。

● 中野地区まちづくり協議会

(愛称) なかのよいまち

(テーマ、スローガン) みんなでつくる なかの よいまち

【平成28年度】

設立日	平成18年12月9日	認定日(当初)	平成18年12月14日
コミセン指定管理開始日	平成23年4月1日	認定日(条例による認定)	平成28年4月1日
事務所連絡先	〈所在地〉東近江市中野町781番地5 中野コミュニティセンター内 〈電話番号・FAX〉0748-22-0154 〈IP番号〉050-5802-2311 〈e-mail〉nakano-machikyo@e-omi.ne.jp		
代表者	代表 田中 常雄		
会議・組織	役員24名(運営委員、監査) 運営委員22名(代表、副代表、事務局長、会計、幹事) まちづくり委員32名(自治会選出、公募委員) 総会構成人員90名(上記まちづくり委員、自治会長、各種団体長) ○まちあるき [°] [°] イ [°] 外 ○歴史探訪 [°] [°] イ [°] 外 ○山と川保全推進 [°] [°] イ [°] 外 ○50年森整備 ○冒険遊び場 ○棕の木保全 ○広報委員会		
予算等の概要	一般会計 240万円(内交付金180万8千円、自治会補助金3万円) 指定管理会計 1,176万3千円 特別会計 315万3千円(基金会計)		
情報紙の発行	まちの情報紙「中野地区まちづくり協議会 広報紙」 A4版4ページ 6月、9月、1月、3月 年4回発行 発行部数2,500部/回 〈主な内容〉 地域に身近でホットなニュース、いま・むかしコーナー、特産品の紹介、サークル紹介、まち協事業、まち協総会報告等		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などでPRできること	<p>中野コミュニティセンターの指定管理を受託したことから、自治会連合会との連携を強め、中野地区のまちづくりを進めています。</p> <p>今年度は新規事業として民生児童委員協議会との連携で命のバトン事業、市内まち協等の協力で婚活事業に取り組みました。</p> <p>中野地区の3大事業として、自治会連合会、各種団体が実行委員会で開催していた、夏まつり・運動会・文化祭の実行委員としてまち協役員が関わってきましたが、その運営についてより積極的に、企画段階からも参画をしてくれています。また、まちづくり協議会の大きな事業である「50年森整備事業」には、自治会連合会によって獲得していただいた資源を活用し一定の成果を内外から受けています。今年度は、子どもの社会活動を進める地球ハートヴィレッジとの協働で多くの事業に取り組むことができました。</p> <p>まちづくり協議会の発足準備段階から続けてきた、毎月7日開催の「円卓会議」は住民が自由な立場で中野地区のまちづくりを語り合う場として続いてきています。この場で議論になったことを運営委員会に反映して、新規事業に繋がるなど、中野地区の夢を語る場としてより発展させたいと思っています。</p> <p>市の職員が地域担当として関わっていただき、より幅広い活動が進められる環境が整いました。次年度に向けて新しい可能性や展開が期待されます。地域の困りごとを解決する「たすけあい中野」とも連携が深まり、また新しい地域活動拠点が創出され地域のNPOなどと連携の輪が広がってきました。</p>		

八日市地区まちづくり協議会

【平成28年度】

設立日	平成18年12月2日	認定日(当初)	平成18年12月5日
コミセン指定管理開始日	平成24年4月1日	認定日(条例による認定)	平成28年4月1日
事務所連絡先	所在地 東近江市八日市町 9-20 八日市コミュニティセンター内 電話番号 0748-23-4120 IP 番号 050-8034-1141 FAX 0748-23-4120 e-mail ykaich-k@e-omi.ne.jp ホームページ 八日市冒険遊び場 http://yokaichiplaypark.shiga-saku.net		
代表者	代表 高村 修	会員数	全住民が対象
会議・組織	執行役員会 年6回(代表、副代表2人、常任理事3人、事務局長、会計、コミセン館長) 理事会 年6回(総自治会長6人、コミセン部会5人、プロジェクト部会7人、会員より3人) 広報委員会 年4回(編集委員長1人、委員5人) プロジェクト: 延命夢クラブ、箕作山麓里・山づくり、八日市冒険遊び場、花いっぱい、いきいきあったかサロン、子育て支援、八日市つながり、清水川湧遊プロジェクト、イーストレインボー		
予算等の概要	一般会計 1,962千円 指定管理会計 14,530千円 特別会計 4,300千円		
情報紙の発行	八日市まち協だより A4版 4ページ 年4回発行 発行部数 2400部/回 主な内容: まち協の活動報告、わがまち探訪、きらり~この人~、八日市ピンポイント、各プロジェクトの活動報告、コミュニティセンターの活動報告、各総区(自治会)紹介		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などでPRできること	<p>八日市地区まちづくり協議会では、今年度清水川湧遊プロジェクトを新たなプロジェクトに加えました。清水川は、清水川湧遊会が中心となって保全活動を行ってきましたが、中心市街地活性化基本計画にこの地域が含まれることから、今まで以上に活動が注目されてきました。そこで、まち協としてこのプロジェクトを積極的に応援する必要が生じ、新たなプロジェクトとしたものです。</p> <p>八日市つながりプロジェクトでは、毎月8日に「カフェ はちのひ」を八日市コミュニティセンターで開店し、語らいの中から新しい「つながり」が生まれています。</p> <p>また、地域担当職員から見た八日市地区の魅力をまちづくり活動に生かし、まち歩きなどの新しい取組みも進めていきます。</p> <p>今後は、まち協とコミセンの事務局機能の一元化、地区内広報の集約化などまち協とその活動拠点としてのコミセンのあり方を検討していきます。</p>		

指定管理・組織運営・他団体との連携・まちづくり活動等の取り組み紹介

清水川湧遊プロジェクト 新たにプロジェクトとして位置づけました



八日市つながりプロジェクトが今年から始めた「カフェ はちのひ」



あんなトコ こんなトコ 八日市まち歩き2017を実施しました

楽しくARUKO! 八日市のステキ! 集めて投稿



八日市地区の魅力、教えてください! 地区内を楽しく散策してもらい、「こんなところがあるんだ、魅力的だなあ」と思うところを撮影してもらいます。そして、魅力を感じたことを簡単な文章にして、写真とともに八日市地区まちづくり協議会のフェイスブックページやメールを通じて投稿してもらいます。



自治会館へ抜ける道、長屋の中央1階部分を除去して通路になったそうです。



緑結びスポットがありました。



大人が楽しめる公園発見しました!

日時: 3月11日(土) 9:30~14:30 ※少雨決行

場所: 八日市コミュニティセンター集合 (八日市町9番20号)

フォトコン開催! 地区内での飲食費500円補助!

※参加費無料です。申込み方法など詳しくは裏面をご覧ください。



地元に住んでいると気がつかない八日市の魅力を、まち歩きで再発見!

たくさんの方に参加していただきました!

まち歩きで発見したあんなトコ こんなトコを Facebook に投稿。

意見交換会で撮った写真を見ながら、ワイワイ、ガヤガヤ。

そんな中から新しい魅力、気がつかなかった魅力、ふだん見慣れている何でもないものが魅力になったり。

フォトコンテストも同時開催。

地域担当職員が中心となって企画したまち歩き! にぎやかな1日になりました

南部地区まちづくり協議会

(愛称) ときめく南部(まち)

(テーマ、スローガン) 誰もが笑顔で暮らし、活力あふれるまち

【平成28年度】

設立日	平成17年9月19日	認定日(当初)	平成17年10月17日
コミセン指定管理開始日	平成23年4月1日	認定日(条例による認定)	平成28年4月1日
事務所連絡先	所在地 東近江市沖野2丁目1番34号 南部コミュニティセンター内 電話番号・FAX 0748-23-1573 IP番号 050-8034-1573 e-mail nanbumachikyo@e-omi.ne.jp ホームページ 現在リニューアル中。平成29年度当初に公開予定		
代表者	会長 森 基一	会員数	69名
会議・組織	役員会6名(会長、副会長3名、事務局長、会計)(内副会長1名は自治連会長) 運営委員会17名(役員、専門部会長(兼務有)コミセン館長、地域担当職員) 評議委員会30名(役員、地区内自治会長14名、各種団体長10名) 拡大運営委員会 運営委員全員 会員の範囲 趣旨に賛同する個人、各自治会からの推薦者、各自治会(団体会員)		
予算等の概要	一般会計 2,200千円 指定管理会計 11,960千円 特別会計 2,630千円(ダンボールコンポスト)		
情報紙の発行	1. まち協会員向けA4両面版「ホットニュース」毎月25日発行 事業日程並びに参加案内及びイベント案内 2. 南部地区内総合広報紙「南部だより」毎月発行にトピックス及び実施事業案内を掲載		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などで特にPRできること	1. 地区内4大イベント(南部まつり、納涼夏祭り、運動会、文化祭)協力と参画 2. 可燃ごみ減量化と循環型社会づくりを目指す各種コンポスト事業の強化継続、再資源可能物コーナーの管理運営継続 3. 休耕田を活用した野菜栽培を通じて、地域の児童等とのふれあいを深める 4. 市立八日市南小学校長期休み(年3回)期間における学習支援活動への協力 5. 市立八日市南小学校子ども森の維持管理 6. 安全・安心のまちづくり推進に伴う各種事業の実施等 ・シニア層を対象とした専門講座の開設 ・毎月2回(交通安全日)通学路交差点における交通安全立ち番と子ども達への挨拶運動の継続実施 ・地域住民福祉活動計画の一環として「ほっとまちカフェ」の立ち上げ運営 <u>なんぶ地区にちなみ毎月7日に開催</u>		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

1. コミュニティセンターの運営管理
 - ・毎週土曜日午前中開館（職員の輪番制にて）
 - ・休日貸館の管理
 - ・コミュニティセンター内外環境の整備、維持管理
2. 地域住民へのPR活動を強化し意見調整の場を設け、充実した活動の展開
 - ・先進地研修等の企画推進
3. “なんぶまちづくり”のHPのリニューアル立ち上げ
 - ・意見集約と管理体制の確立
4. 南部地区の防災・減災
 - ・自治会、地区社協、自主防災組織等との連携
 - ・自主防災組織未設立自治会への働きかけ
5. 少子高齢化時代に役立つ地域風土作り
 - ・老若男女が集える場づくり
 - ・地域特性を踏まえた住民参加による支え合いづくりの推進
6. 住民の環境意識を高め、ごみ全体の減量化から、収集経費及び処理費用軽減の節約
 - ・各種コンポスト事業の普及啓発活動の推進
 - ・「生ごみ堆肥講座・菜園講座」の開催を通じて、堆肥の活用方法を啓発
 - ・資源ごみの分別収集を推進し、再資源化を協力に進める
7. 男女・年齢を問わず皆が集い、学び趣味を生かせる場作り
 - ・愛犬家による地域パトロール
 - ・休耕田を活用したふれあいの場づくり
 - ・3R（リフォーム・リユース・リサイクル）を積極的に推進
 - ・学習支援活動（べんきょうしょう会）への協力
 - ・あびこ（挨拶・美化・交通安全）活動の継続展開
8. 当年新規立ち上げ事業
 - ・「第2次南部地区住民福祉活動計画」に沿って
南部地区の人がつながる場、気軽に話せる場として “ほっとまちカフェ” を実施



永源寺地区まちづくり協議会

(愛称) We Are The One “みんなでひとつ”

(テーマ、スローガン) 里いっぱい新呼吸 笑顔のまち えいげんじ

【平成28年度】

設立日	平成17年9月30日	認定日(初)	平成17年10月17日
コミセン指定管理開始日	平成26年4月1日	認定日(条例による認定)	平成27年4月1日
事務所 連絡先	所在地 東近江市山上町 1316 番地 永源寺コミュニティセンター内 IP 番号・FAX 050-5802-9336 e-mail e-net6500@e-omi.ne.jp ホームページ http://members.e-omi.ne.jp/e-net6500/		
代表者	会長 山田 重三	会員数	79人
会議・組織	役員会(会長、副会長、監事)6人 随時開催 運営委員会(役員、部会長、会長が指名した者) 概ね月1回開催 専門部会 6部会 随時開催		
予算等の概要	28年度予算総額 6,545千円 収入内訳 交付金:3,226千円 受入負担金:350千円 事業収入:420千円 受入拠出金:800千円 受託料:1,172千円 ほか 支出内訳 広報費:600千円 まちづくり計画部会活動費:600千円 まちづくり計画事業推進費:2,900千円 活動負担金:660千円 受託事業費:1,172千円 まち協事務局費:423千円 ほか		
情報紙の発行	e NET6500 年6回発行 A4/最大12頁 カラー(現在NO.72) (まちの話題、まちきょうだより、クローズアップ、e-元気人ほか) e NET6500情報版 毎月発行 A4/4頁 白黒(現在NO.141) (イベント等告知、くらしのカレンダー、学校・園だより、コミセンだよりほか) ホームページ 随時更新		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	<p>「自らの地域は自ら考え自ら行動していく」を基本に、地区の伝統文化を再発見し継承していくと共に、次代を担う人材を地域の子育て団体と協力し、地域活力を生み出す、そんなまちづくりをめざす。</p> <p>○地域の良さを再認識し、継承していく取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千草街道の整備及びわがまち探訪事業(千草街道を往く、鈴鹿の自然観察) ・きらり!えいげんじ再発見事業・もみじ街道の整備・エイゲンジ桜の植栽 ・大本山永源寺のライトアップ <p>○環境にやさしいまちづくりへの取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの分別意識の高揚(エコキャップ、プルトップ、割り箸等の回収) ・大型(金属性)資源回収 ・花と緑に囲まれたまちづくり(花苗の配布) <p>○情報誌などを通じ、地域連携を深め地域福祉の推進を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て応援事業 ・みんなの夏休み(夏祭り) ・みんなのふるさと祭り <p>地域固有の資源を活用して活動することにより、地域の良さをみんなで共有し、地域に対する誇りと愛着心の醸成に繋げていく。まち協をより多くの住民が参画しやすい組織にするため、事業やイベントを企画・運営することについて多くの参画が得られるよう、自治会、自治会連合会、「道の駅 奥永源寺溪流の里」との連携を深め、永源寺地区の一体化を図る。</p>		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

- ・平成 26 年 4 月 1 日より永源寺コミュニティセンターを指定管理しており、コミセン事業とも連携してまちづくりに取り組んでいる。
- ・文化の薫る個性あるまちづくりを進めてきたが、さらに磨きをかけ永源寺の魅力を高めるため関連するイベントの開催、コース整備、花いっぱい運動などを実施する。
- ・古くからもみじの名所として知られているえいげんじで、さらにもみじのこだわり、もみじを生かしたまちづくりを進める。国道 421 号に沿って石樽トンネルから永源寺までの間もみじ街道として景観形成を図る。
- ・情報誌の充実により、まちづくりに取り組んでいるまち協及び各種団体の活動を紹介し、地区住民への啓発と参加を呼び掛ける。

活動の紹介

千草街道を往く



ゴミゼロ大作戦



みんなの夏休み



大型金属製資源回収中部会場



永源寺ライトアップ



伊賀市視察研修



五個荘地区まちづくり協議会

(愛称) GO!まち協

(テーマ、スローガン) 心イキキはつらつと みんなが楽しむまちづくり

【平成28年度】

設立日	平成18年3月18日	認定日	平成18年3月23日
コミセン指定管理開始日	平成25年4月1日	認定日(条例による認定)	平成27年4月1日
事務所連絡先	所在地 東近江市五個荘小幡町 318 五個荘コミュニティセンター内 電話番号 0748-48-7303 IP番号 050-5801-7303 FAX 0748-48-6454 e-mail go-machikyo@e-omi.ne.jp ホームページ http://go-machikyo.jp/index.html		
代表者	会長 小杉 勇	会員数	地区住民全員
会議・組織	役員会 9人(会長、副会長、顧問、事務局長、館長) 運営委員会 24人(役員、各事業部正副部長、有識者) 事業部会 安心・安全部会74人、環境部会40人、 歴史・文化部会39人、地域福祉部会47人、情報誌部会9人 地域担当職員6人、地域活動応援隊79人 構成員 五個荘地区に在住、在勤する全ての人と地域の活動団体		
予算等の概要	平成28年度予算総額 6,880千円 収入内訳 前年度繰越金 1,323千円 交付金 3,065千円 委託料 1,481千円 諸収入 1,011千円 五個荘コミュニティセンター指定管理会計 29,950千円		
情報紙の発行	まちづくり情報誌「GO!まち協」 A4版8ページ 偶数月年6回発行 発行部数4千部/1回 主な内容 特集、まちの話題、ひと・まち・団体の紹介、行事予定 他		
指定管理や組織運営で工夫していることや、地区で最も重視している活動	<p>組織運営で工夫していること</p> <p>五個荘地区まちづくり協議会は、平成26年4月1日施行「東近江市協働のまちづくり条例」第18条に謳われた「地区の課題解決と個性を生かしたまちづくりに取り組むため、多様な主体が参加して自主的に設置する一地区に一団体の地域自治組織」としての要件を満たし、平成27年4月1日に認定されました。</p> <p>平成18年3月当協議会設立時の趣旨のとおり、行政主導のまちづくりから、住民が主体となって活動する「住民と行政の協働のまちづくり」の推進母体であることがより明確にされ、地区27自治会・住民が包括的に参画する民主的な運営が求められています。</p> <p>喫緊の課題として、地区住民の安心・安全にかかわる事業の充実、少子高齢化や人口減少に伴う福祉事業への積極的な参画、自治体が推進する定住人口・交流人口の増加拡大事業の参画や、地方創生を鑑み地区内の文化、歴史など発信すべき情報の集約と共有化など課題は山積しています。</p> <p>これらのことを踏まえ、平成28年度事業においては、地域に根ざしたまちづくり、地域の皆さんの安心で安全な暮らしの確保に視点を置きながら、「住みよいまち、住みたいまち、住みつづけたいまち」をつくるための取組みおよび活動をしていきます。</p>		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

【安心・安全事業部会】

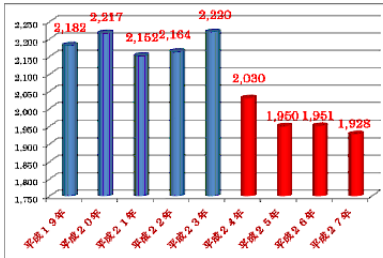
「東近江市総合防災訓練」に参加



五個荘地区の全自治会と五個荘中学校、各種団体も参加し大規模な訓練になりました。

【環境事業部】

「ダンボールコンポスト」の推進(講習会の開催など)



大型金属資源回収(年3回実施)



23年に生ごみ減量化活動に取り組みを始めてから、可燃ごみの排出量 1,021トン 処理費用 3,037万円減らすことが出来ました！(23年度比)

延べ100人のボランティアが年間約20トンの金属資源を回収しています。

【歴史・文化事業部】

「中山道灯り路」



約6千人が訪れる地域に密着した魅力的なイベントに育っています。

【地域福祉事業部】

てんびんの里ふれあい広場



五個荘地区最大のイベントとして約8千人の来場者でにぎわいました。

歌声喫茶「びーちくパーク」



ピアノの生演奏に合わせてみんなで楽しく歌います。

冒険遊び場「はらっパーク」



緑いっぱいの五個荘中央公園は遊具も充実しています。

【情報誌事業部】

「GO!まち協」発行

まちの話題や行事予定など地域の情報満載！「五個荘クイズ」も大人気。



僕「てんびん坊や」です。まち協広報マンとして活躍中です！



愛東地区まちづくり協議会

(愛称) 愛の^{まち}田園ネット

(テーマ、スローガン)「愛東が好き！東近江市はいいところ！」と子供たちが胸を張って
言ってもらえるように、まち協の活動を通じて汗をかこう！！

【平成28年度】

設立日	平成17年5月21日	認定日(当初)	平成17年7月21日
コミセン指定管理開始日	平成24年10月1日	認定日(条例による認定)	平成27年4月1日
事務所連絡先	所在地 東近江市下中野町 431 愛東コミュニティセンター愛の田園ネット事務所 電話番号・IP番号 050-5802-8614 FAX 0749-46-2270 e-mail machinet@e-omi.ne.jp ホームページ http://members.e-omi.ne.jp/machinet/		
代表者	会長 中嶋 勝男	会員数	105(個人75名、団体8、自治会代表22)
会議・組織	役員 10人(会長、副会長、監事、事務局長、事務局次長、館長、顧問) 運営委員会 16人(役員、専門部会長等) 評議員会 22人(自治会長) まちづくり委員 22人 (専門部会) 広報部、防災部、自治まちづくり部、地域ふれあい活動部、花づくり部、イベントサポートプロジェクト、ちょこっとバスプロジェクト、若者のまちづくりプロジェクト、福祉プロジェクト、愛のまち交流プロジェクト、愛東住みたいプロジェクト		
予算等の概要	一般会計 5,284千円 (内 自治会等からの会費 782千円、基金繰入 500千円 まちづくり総合交付金 2,821千円) 愛東コミュニティセンター管理運営事業会計 28,192千円		
情報紙の発行	元気なまちづくり情報誌「愛の田園だより」 A4版8ページ 毎月発行 発行部数1,500部/月 <主な内容> 特集、地域の話題、イベント、コミュニティセンターの情報等		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などで特にPRできること	<p>愛東地区では、自治会、まち協、行政の三位一体によるまちづくりを推進するとともに、新たな発想と工夫によるまちづくりへの取組みを展開しています。</p> <p>独自の気象情報サービス「愛の田園気象だより」の開設 地区内の風速や気温などを即時に知らせ住民の農作業や健康管理に役立ててもらうことを目的にコミュニティセンター裏に観測機器を設置し、観測結果をホームページで常時公開しています。災害や健康被害の恐れがある場合は、ケーブルテレビ網の音声放送で告知することとしています。</p> <p>「花いっぱい彩りのある町、心安らく町」を… 今年度も愛東支所、コミュニティセンター、診療所前周辺に花の定植とまち協独自開発の水遣り省力プランターを設置しました。また、地区内の自治会へのプランター貸出や花好きの住民の協力を得て、合計600鉢のお世話を頂いています。</p> <p>防災の啓発活動として「ロケットストーブ」を製作 自治会長、まちづくり委員、まち協スタッフでロケットストーブを作成しました。完成したロケットストーブは、自治会等で今後の防災活動や啓発にご利用頂くこととしています。</p>		



指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

未来を託す若者に夢とエールを!!

1月8日開催の「20歳のつどい」に、祝花火をプレゼントし地区住民による祝意と励ましを行いました。

みんなで創る情報誌「愛の田園だより」の発行・ホームページの運営

地域の情報を住民の皆さんと共有するために情報誌を毎月発行しています。コミセンとコラボし、より新鮮な情報の提供に努めています。

スマイルネットの告知放送による情報誌の紹介やホームページを更新しています。(広報部)

あいとう3大イベント活動の開催

あいとう夏まつり2016

テーマ「元気な あいとうの仲間たち」

7月30日(土) バザー出店数 24店 来場者数 約1,500人
バザー、歌謡ショー、ステージイベント(愛東若鮎太鼓、商工戦隊赤レンジャイ)抽選会等を行い、リユース食器によるごみの減量化に取り組みました。例年以上の賑わいでした。



(夏まつり)

あいとう秋まつり2016

10/28~31日 あいとう文化まつり(愛東地区文化協会)

10月30日(日) バザー出店数 16店 来場者数 約800人
ステージイベント(東近江消防音楽隊の演奏、氷の彫刻実演) 似顔絵コーナー、バザー、抽選会等を行いリユース食器によるごみの減量化に取り組みました。



(秋まつり)

出前サンタとイルミネーション

自治会などで取組まれるクリスマス会に、子どもたちに夢を与えられるよう、今年もまちづくり協議会からサンタを派遣しました。今年度も保育園・幼稚園・集落等から要請がありました。併せて、コミセン前庭に竹ドームにイルミネーションを飾り付けました。



(出前サンタ)

イベント等への模擬店の出店

まち協や各種のイベント等への模擬店の出店を中心に活動を行いました。(イベントサポートプロジェクト)

「ドキュメンタリー映画」の上映

昨年度から製作中であった「ドキュメンタリー映画」の上映会を開催しました。(若者のまちづくりプロジェクト)



(命のバトン表彰式)

命のバトンの更新

8月10日を「命のバトンの日」と定め、各家庭の冷蔵庫に設置してもらいました。また、動画を作成して命のバトンの啓発に努めています。(福祉プロジェクト)

愛のつく町との交流事業

北海道愛別町との交流事業を実施しています。今年度も、「きのこの里フェスティバル」に9月10日~12日まで参加しました。(愛のまち交流プロジェクト)

空き家の有効活用

増加傾向にある地区内の空き家を有効活用(減らす)するため、空家バンクの立ち上げ等に取り組みました。当地区への移住者の交流会を開催し、情報交換をしています。(愛東住みたいプロジェクト)

湖東地区まちづくり協議会

(愛称) 好きやねん湖東

(テーマ、スローガン) いきいき ほのぼの わくわく あったか湖東時間

【平成28年度】

設立日	平成17年7月14日	認定日(当初)	平成17年9月20日
コミセン 指定管理開始日	平成24年4月1日	認定日(条例による認定)	平成28年4月1日
事務所 連絡先	所在地 東近江市池庄町 495 番地 電話番号 0749-45-0950 IP 番号 050-5801-0950 FAX 0749-45-2049 e-mail suki-koto@e-omi.ne.jp ホームページ http://www.sukisuki-koto.jp/		
代表者	会長 小島 善雄	会員数	地区内市民が対象
会議・組織	総会、理事会、運営委員会、まちづくり検討委員会、まちづくり推進員会議 部会：広報部会、防災コミュニティ部会、みどり・環境部会、福祉部会、 あったか湖東時間部会 プロジェクト：まちカフェプロジェクト、湖東歴史文化プロジェクト		
予算等の概要	一般会計 7,233千円 指定管理会計 28,310千円		
情報紙の発行	まちづくり情報紙『好きやねん湖東』毎月1回発行 コミュニティセンターと共同編集 発行部数 2,700部/月 A4版4面 <主な内容>表紙には話題となった写真コメント、内容はまち協の活動紹介、 話題の人、湖東コミュニティセンター関連記事など		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	<p>自治会との連携 理事には、今年度の自治連会長と、各自治会まちづくり推進員から3名に就任していただいています。まち協に頻りに足を運んで頂く機会を増やすため、自治会長や各種団体の皆さんには、輪転機や大型プリンターを利用していただいています。</p> <p>各種団体との連携 各種団体からも4名、まち協の理事に就任していただいています。社会教育団体の事務局をコミュニティセンターが現在受け持っているため、連携は容易であり、団体の活動、事業も広報誌で紹介しています。</p> <p>災害に強いまちづくり 各自治会において、自主防災組織の立ち上げも含めて、DIG(災害図上訓練)の出前講座を実施しました。3年間ですべての自治会を回る計画は、折り返し地点を経過しました。各自治会で防災運動会のプロデュースもしています。</p> <p>指定管理運営 コミュニティセンターの教室は、年度当初に年間の募集をするため、年度中は単発の教室等の募集を行っています。その中でまち協部会の事業との接点があれば、共通の事業(教室)として募集を行っています。</p>		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

理事会

- ・随時 理事会を開催
- ・28年度は、自治会懇談会を学区単位で開催しました。今後の少子高齢化、人口減少について、地域はどうしていけばよいか。まちづくり協議会と住民、自治会の協働をどうしていけばよいかなど話をしました。また、自治会の課題など情報交換の場としました。

運営委員会

- ・月に2回開催。
- ・今年度から運営委員会を設置し、当面の課題や問題点を協議し、理事会に提案する議題について協議をしています。11月からは地域担当職員さんも参画してもらい、特にまちづくり計画の見直しについて取り組んでいます。

広報部会

広報『好きやねん湖東』の取材・編集・発行、ホームページの管理をしています。また広報誌面による他団体活動応援も継続中です。

防災コミュニティ部会

「湖東地区内全自治会でDIG出前講座を開催!」を目標に取り組むほか、防災運動会のプロデュース、防災×クイズ、防災教室や、防災食出前講座など地域住民の防災意識向上に楽しく取り組んでいます。



防災食づくり体験

みどり・環境部会

“農”への関心をもってもらうため、地域の子供たちと一緒に菜園で玉ねぎおこしや、さつまいもおこしをしています。その他にも、グリーンカーテン推進活動、資源ゴミ回収、家庭ゴミの減量化に取り組んでいます。

福祉部会

地区社協の事業が福祉部会を兼ねているために関わっている人が限られています。

あったか湖東時間部会

地区イベント、コトナリエ 2016（実行委員会制）、ふるさとまつり（実行委員会制）の開催や、12月には『おうちにサンタがやってきた!』を実施しています。

まちカフェプロジェクト

今年度から本格的にまちカフェを月2回開催し、高齢者や子育て中の親子が湖東コミュニティセンター別館ホールで、楽しくコーヒーを飲んでおしゃべりなどを行っています。また、ミニ講座や技芸を行っています。

湖東歴史文化プロジェクト

このプロジェクトは、旧湖東歴史民俗資料館、泰山閣が廃止になったことを受けて、今後この施設をどのようにしていくか、また、子どもたちに湖東地区内にある史跡、文化財などを後世に残せるように伝えることを検討しています。



歴史民俗資料館の様子

まちづくり計画の見直し

平成30年度から34年度までのまちづくり計画を自治会、キーパーソンなどのアンケートや、ワークショップなどで見直し作業に励んでいます。

コミュニティセンター運営

さざんか学習講座の教室をはじめ、社会教育団体の支援や協力をしながら、地区自治会とも連携を図り、地域の絆を深め、住民が集える施設となるように心がけています。

一般社団法人能登川地区まちづくり協議会

(愛称) ホップ ステップ のとがわ

(テーマ、スローガン) 住みよいまち 住みたいまち 住みつづけたいまち

【平成28年度】

設立日	平成19年3月10日	認定日(当初)	平成19年3月13日
コミセン指定管理開始日	平成24年4月1日	認定日(条例による認定)	平成27年4月1日
事務所連絡先	所在地 東近江市躰光寺町 262 番地 能登川コミュニティセンター内 IP 電話番号 050-5802-2793 FAX 0748-42-1556 e-mail notomatikyo@e-omi.ne.jp ホームページ http://notomatikyo.com/		
代表者	会長 藤居 正博	会員数	177名
会議・組織			
予算等の概要	一般会計 6,056千円 指定管理会計 60,703千円 予算総額 66,759千円		
情報紙の発行	まちの情報紙「ホップ ステップ のとがわ」 A4版 8ページ(カラー4、白黒4) 偶数月 年6回発行 発行部数 8,500部/回(全戸配布) 会員情報紙「のとまち協 NEWS」毎月1日発行(260部)		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などで特にPRできること	5月、総会において、53地区からなる能登川地区自治会連合会役員13名の理事就任に加え、本年、市民活動団体から女性3名に就任頂いた。 6月、コミュニティセンター竣工記念事業として能公演『竹生島』、11月、第3回能登川寄席に協賛した。 指定管理施設の有効利用 10月、「能登川地区まちづくり計画」がまちづくり計画策定委員会より答申された。(委員長：谷口浩志びわこ学院大学短期大学部教授) 12月、「病院をよくする会」が第2回わがまち協働大賞入賞、協働コーディネイト賞(同会事務局長の個人受賞)を受賞した。 「フラ輪 プロジェクト」と銘打った能登川中学校生徒会の美化活動に協働し、JR 駅周辺花壇設置と水遣りの活動を継続支援した。 12月、第13回 Lighting Bell in NOTOGAWA の開催に共催した。 通年、自主防災、e 防災マップづくり、DIG,HUG 等の研修会開催や、自治会への出前講座等を行った。		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

<写真で綴る活動紹介>

広報事業部

(年6回偶数月に発行、8500部全戸配布します)

H29.2.1号表紙とコミセンだより(裏面)



市政懇話会

(10/11 コミセンホールで開催)



ふれあいフェア

(10/23 ふれあい運動公園で開催。4万人余が来場・まち協模範店模様)

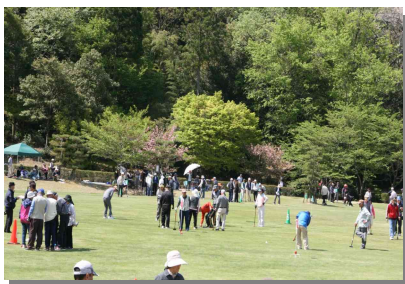


環境事業部(能登川中学校美化活動フラ輪プロジェクトは、市教委から、ボランティアバッジ賞受賞。駅を花で飾る活動を支援。フラワーポットは現在37基に達した。)



まち協会長杯 GG 大会

(4/23 第3回を数え、約350名が参加。やわらぎの郷公園にて開催)



安全・安心事業部

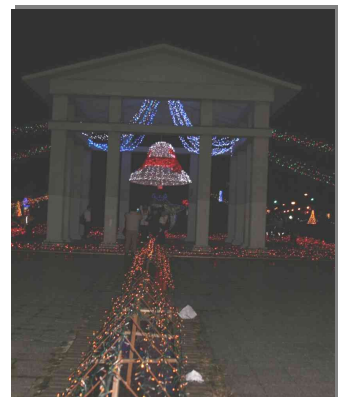
(6/24 自主防災研修会・コミセンホール 熊本地震の後でもあり、参加者の関心は高かった。)



第13回 2016

Lighting Bell in NOTOGAWA

(12/17 ~ 12/25 に開催)



健康福祉事業部

(能登川病院をよくする会は、第2回わがまち協働大賞・協働コーディネート賞を受賞した。)



施設運営事業部

(指定管理しているコミュニティセンター竣工記念事業 6/11 能装束着付実演と能『竹生島』の公演を協賛、招待した能登川中学生230名を含め600名の観客で満席のホール)



蒲生地区まちづくり協議会

(テーマ、スローガン) このまちで心豊かに住み続けたいと思えるまちづくり

【平成28年度】

設立日	平成18年11月18日	認定日(当初)	平成18年11月22日
コミセン指定管理開始日	平成25年4月1日	認定日(条例による認定)	平成27年4月1日
事務所連絡先	所在地 東近江市市子川原町 461-1 蒲生コミュニティセンター内 電話番号・FAX 0748-55-3030 IP番号 050-8035-8437 e-mail gamomachikyo@e-omi.ne.jp ホームページ http://higashio-me.com/member/gamomachikyo/		
代表者	会長 向井 隆	会員数	(H29.1.1 現在) 14,994 人
会議・組織	総会 114 (自治会代表、自治会まちづくり委員、地域活動団体代表) 役員会 5 (会長、副会長、事務局長、会計、(監事除く)) 企画会議 14 (役員、特別委員会委員長、専門部会部長) 運営委員会 30 (企画会議メンバー、運営委員、自治連三役) (特別委員会) まちづくり計画推進委員会 19 広報企画委員会 5 ふるさと蒲生野川づくり委員会 27 (専門部会) エコランド部会 3 (他にモニター30) ひだまり部会 8 あかね部会 8 ふれあい交流部会 13 万葉ロマンの里づくり委員会 12 地域活性化部会 9 自治会まちづくり委員会 42 (各自治会 1 名選出) 蒲生まちづくり会議 (自治連役員、市関係者、県・市議会議員、農協、社協、 コミセン、各種団体、まち協 他)		
予算等の概要	一般会計 13,700 千円 (内会費 2,100 千円、交付金 4,935 千円、補助金 400 千円、委託金 4,951 千円) 指定管理会計 コミセン 38,600 千円 古墳公園 1,864 千円		
情報紙の発行	1 蒲生まち協の広報紙「がまチョコ」 A4版4ページ 毎月20日4,800部発行 2 FMひがしおうみ(RadioSweet)81.5MHzにて、 毎月第2土曜日11:00から(再放送 火曜日9:30~) 蒲生まち協番組「Happy Gamo」(30分)放送 主な内容 まち協の情報、自治会のまちづくり紹介、各種団体の活動紹介等		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などで特にPRできること	年間の事業は、まちづくり計画を軸に、自治会連合会とまち協が両輪となり関係団体、企業等と連携しながら活動を展開している。その上で、 1. 自治連との連携強化の一環 自治連とまち協の合同研修会として年1回、県内各地へ視察研修を実施(H28年度は、獣害対策と防災先進地として土山町へ行きました。)  【視察研修】 2. まちづくり会議の開催 蒲生地区の抱える課題等について県・市議はじめ蒲生地区の各分野で活躍されている方々と意見交換会を開催しています。 3. 2030年を目指し改定した「まちづくり計画書」を進めるため「がもう夢工房協議会」を立ち上げ、取り組みを行っています。(食の六次産業化、着地型観光、援農隊)		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

1 本部事業

- ・蒲生コミュニティセンターと悠久の丘あかね古墳公園の管理運営を受託
- ・「蒲生まちづくり会議」の開催
- ・「自治会まちづくり委員会」の開催
- ・「まちづくり計画書（改訂版）」の作成
- ・「蒲生地区まちづくりフォーラム」の開催
- ・あかね夏祭り実行委員会の事務局担当
- ・いきいきあかねフェア実行委員会への参画
- ・大型金属性資源回収事業の実施
- ・「新年互礼会」の開催
- ・各種団体との懇談会開催
- ・視察の受け入れ



【まちづくり会議】



【あかね夏祭り】



【大型金属性資源回収】



【新年互礼会】

2 委員会活動

(1) まちづくり計画推進委員会 【まちづくり委員会】

- ・まちづくり計画進捗管理
- ・まちづくり計画の6つの基本方針に沿ってまちづくりを進める

(2) 広報企画委員会

- ・広報紙「がまチョコ」毎月発行
- ・FMひがしおうみ蒲生まち協放送番組“HappyGamo”
毎月第2土曜日 11:00 から 30分間放送
- ・各自治会、各種団体と連携し、情報収集



【まちづくりフォーラム】

(3) ふるさと蒲生野川づくり委員会

- ・川づくり啓発活動の取り組み（のぼり、ポスター、チラシ等）
- ・日野川および佐久良川の現状調査の実施
- ・日野川および佐久良川モデル地区の「除草作業とゴミ拾い」作業の実施
- ・ふるさと美化「蒲生の日」（第3土曜日）を定め、美化活動参加と意識向上の啓発
- ・「夏原グラント」助成金受託



3 部会活動

(1) ひだまり部会

- ・「安心、安全のまちづくり事業」 ・マニュアルの作成、配布
- ・自主防災組織の作成 ・講演会、研修会の実施 ・命のバトン事業

(2) ふれあい交流部会

- ・ふれあいウォーキングの実施 ・健康教室開催 ・軽運動教室の開催 【佐久良川の除草作業】
- ・健診率アップの啓発 ・食育講座の実施 ・地域の拠り所創造事業へ参画
- ・「まち協音頭」を各自治会のサロンに出向き啓発促進
- ・縁側カフェ開催時に健康相談等の窓口開催

(3) エコランド部会

- ・健康野菜いっぱい運動・コンポスト（設置型・ダンボール）の普及
- ・ゴーヤカーテンの設置・市より生ゴミ減量化推進事業の受託

(4) あかね部会

- ・世代間交流事業「あかねGOSHU」企画の継続
- ・シニア世代の仲間づくり、生きがいくくり
- ・結婚活動支援事業（赤い糸プロジェクト事業他）
- ・切れ目ない子育て拠点づくり事業



【婚活支援活動（がちゃ婚）】

(5) 万葉ロマンの里づくり部会

- ・「万葉の寺小屋」の出前講座、史跡見学・広報誌がまチョコに「がもうのはなし」を連載
- ・マックスクラブ（わくわくチャレンジ探検隊）への参加
- ・「ガリ版伝承館」・「野口謙蔵記念館」の特別展などの支援

(6) 地域活性化部会

- ・がもう夢工房協議会の活動との連携・蒲生スマートインター周辺の市有地を有効利用
- ・龍谷大学とのコラボ

東近江市協働のまちづくり条例（抜粋）

（まちづくり協議会）

第18条 まちづくり協議会とは、地区の課題解決と個性を生かしたまちづくりに取り組むため、多様な主体が参加して自主的に設置する地域自治組織をいう。

2 市は、次の各号の要件を満たすまちづくり協議会を、一地区について一団体を認定するものとする。

- (1) 地区自治会連合会等の多様な主体が参画し、地区のまちづくりに包括的に取り組んでいること。
- (2) 地区のすべての市民を対象としていること。
- (3) 民主的な運営を行うため、規約を定めていること。
- (4) 地区のまちづくりの基本方針等を定めた「地区まちづくり計画」を策定していること。

(5) 運営に当たる役員や代表者は、民主的に選出されたものであること。

(6) 運営の透明性が確保されていること。

3 市は、まちづくり協議会の認定後、前項に規定する要件を満たしていないと認められた場合は、改善を求めなければならない。

4 市は、まちづくり協議会の活動を尊重し、技術的及び財政的援助等の必要な支援を行うものとする。

5 市民は、まちづくり協議会の活動に積極的に参加し、相互の交流を深めながら協働するものとする。

6 まちづくり協議会は、地区の課題を解決するため、市及びその他の組織と協働してまちづくりを推進するものとする。

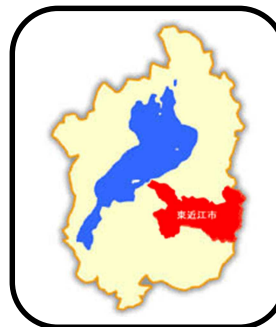
7 まちづくり協議会は、各地区コミュニティセンターをまちづくりの拠点とし、市と協働して運営するものとする。

東近江市は、平成17年2月11日に、1市4町（八日市市・永源寺町・五個荘町・愛東町・湖東町）が合併して誕生しました。その後、平成18年1月1日に、蒲生町および能登川町と合併し、現在の東近江市の形になりました。

東近江市は、滋賀県の南東部に位置し、北は彦根市、愛荘町、多賀町、南は竜王町、日野町、甲賀市、西は近江八幡市と接しており、東は三重県との県境になっています。

地形は東西に細長く、東に鈴鹿山系、西に琵琶湖があり、愛知川が市域の中央を流れています。また、市の南西部には日野川が流れています。この両川の流域には平地や丘陵地が広がり、緑豊かな田園地帯を形成しています。さらに地域内には箕作山や織山などが点在し、豊かな自然に恵まれています。

また、東近江市は、額田王と大海人皇子の相聞歌の舞台となった蒲生野や、永源寺、百済寺、石塔寺など多くの古刹があることで有名です。中世以降は市場町や門前町に連なる交通の要衝の地として栄え、近世には近江商人が活躍し、多くの企業家を生んでいます。このように、東近江市はさまざまな地域との交流を通して、数多くの文化がはぐくまれてきたまちです。



【東近江市概要】

面積 388.37 平方キロメートル
人口 115,210 人
世帯数 42,892 世帯
(平成28年10月1日現在)



発行 平成29年3月

東近江市総務部まちづくり協働課
〒527-8527

滋賀県東近江市八日市緑町10番5号

TEL 0748-24-1234 (代表)

<http://www.city.higashiomi.shiga.jp/>